第 2 回定例教育委員会 会議録

開 催 月 日　平成31年4月24日（水）

開 催 時 間　午後 3 時 00 分から 午後 3 時 33 分まで

開 催 場 所　教育委員会室

出 席 委 員　教 育 長　市 川　満
教育長職務代理者　野 田　清 紀
教育長職務代理者　武者　稚枝子
委　員　三 塚　憲 二、佐藤　喜美子

出 席 職 員　教 育 次 長　斉木　邦彦
学力向上対策監　初鹿野　仁
次長（総務課長）　小田切三男
福 利 給 与 課 長　小尾　一仁
学 校 施 設 課 長　（代　総括課長補佐　浅川　美和）
義 務 教 育 課 長　中 込　司
高 校 教 育 課 長　廣瀬　浩次
高校改革・特別支援教育課長　本田　晴彦
社 会 教 育 課 長　保坂　哲也
スポーツ健康課長　丸山　正雄
学術文化財課長　村 松　久
企 画 調 整 主 幹　古屋 登士匡
総務課総括課長補佐　小泉　治明
政策企画監（総務課課長補佐）清水　康邦
総務課課長補佐　小林　宏行　総　務　課
総務課課長補佐　入倉　俊幸　主　査　日向かづ美
総 務 課 主 査　河野　奈美

傍 聴 人　1 名

報　道　1 名

会 議 要 旨

〔 教育長開会宣言 〕
教育長から加藤委員が都合により会議を欠席する旨の届け出があったとの報告があった。

1 議　案
第 3 号　甲府地区広域行政事務組合の規約変更について
［説明］ 総務課

野 田 委 員　「意見なし」というのか、異議なしとかではなく。

小田切課長　「意見は特にございません」という回答をする。「これを廃止することに対して意見はありますか」と聞かれているので、「意見はありません」と。

野 田 委 員　承知した。

三 塚 委 員　１６ミリとビデオは、大幅に減少しているが、ＤＶＤはそれほど大幅に減少しているという状況ではない。この辺はどういう評価をしているのか。

小田切課長　　１６ミリとビデオに関しては、最近家庭においても使われてはいないと思う。甲府地区行政事務組合で借りることができるのが、個人では借りられず、組合など何かの団体でないと借りられない。機材の貸出についても、１６ミリ映写機は、組合も持っていない、という状況。ただＤＶＤに関しては、やはり一般的にＤＶＤプレーヤーは普及されているので、まだ若干貸出数は残っている状況。仮にこの事務を廃止した時に、資料は１，２００点ほどあるが、これについては構成市町の図書館等に配分するという形になっている。ＤＶＤについても各市町で貸し出すことになる。今、市町の図書館もネットワークを組んでいるので、ほかの町にあるからと借りることはできる状況になっている。

三 塚 委 員　　承知した。

【原案どおり決定】

２　報 告 事 項　　な　し

３　その他報告

(3)　２０２０年度採用山梨県公立学校教員選考検査実施要項について

［説明］ 義務教育課

佐 藤 委 員　　今年からの変更点として、大学推薦の実施とあるが、多分、いい人材をとにかく確保しようということだと思うが、推薦なので大学に対しての条件のようなものがあると思うが、どのような条件になるのか。

中 込 課 長　　最低限、個人に課しているのは、小学校教諭の一種又は専修を取っているといった条件であるが、大学についても、その免許資格を取得できる大学に対して付与するということで、県内であれば４大学を今想定している。梨大と都留文については専攻科があり、専修免許の取得が可能となっているので、そちらを含めた推薦枠ということで通知する予定。

武 者 委 員　　推薦の場合には試験はあるのか。

中 込 課 長　　試験はあるが、推薦された者には一次試験の一般教養を免除するということで対応している。

武 者 委 員　　不合格もありうるということの理解でよろしいか。

中 込 課 長　　不合格もありうる。

武 者 委 員　　あと加点制度の拡充、非常に良いと思うが、教科担任制を推進していくといったことがあったと思うので、例えば数学とか理科の指導力とか、学力があるといった先生も今後採っていくような形もあり得るのか。
それと関係して小学校は、音楽も課すということになっているが、将来的にはピアノが上手に弾けなくても大丈夫になってくるということが、これも同じような時期に発表されたかと思うが、これもいずれはなくなるといった形でよいのか。そういうインフォメーションみたいなものをしていったほうが今後は良いのではないか、と思う。

中 込 課 長　　ご指摘の数学・理科の専門的な部分を持っている方については、現行、小学校の免許を持っている方が中学校の数学、理科のいずれかを持っていれば加点の対象となる。もちろん音楽とか、別の教科でも加点の対象になるので、その教科によってのアドバンテージを付けていることは現在ではない。
実技の軽減化については、全国的に小学校の教員の志願者が減っているので、軽減することで志願者を増やしていこうと全国的にされていると思うが、ある程度の能力実証、免許を持っているのである程度資質保証はできていると思うが、ある程度見ながら選考する必要があるということで、本県では課している。この点についても実施の可否も含めて検討していきたいと思っている。

野 田 委 員　　３つ。１つ目、年齢制限は昨年４９まで上がったが、そのままか。
２つ目、大学の推薦枠というのは、各学校に３名ですよとか、２名ですよとかと振り分けるのはどうなのか。それに関連して、一般教養はすごい高い点数だけど、クレペリン検査とか何とかであとでバツが付いてくることがある。そういう場合、推薦枠の時に、そういうふうな振り落としをきちっとしておかないと、かわいそうだなと思うが。
３つ目、加点はどの程度、下駄を履かしておくのか。教科は、均一でもいいと思うが、１教科持っていたら５点とか、２点とか。だけど、どのぐらい加点をしていくのか。小学校の先生を見ていると、０．１点差でつながるではないか。そうするとその１点、２点がものすごい加点としては大きいので、どの程度の加点をするのか。

中 込 課 長　　１点目の年齢は、本年度も４９、昨年度上げたので、現時点では４９ということで対応する予定だ。

野 田 委 員　　良いと思う。

中 込 課 長　　東京は５９まで広げている。

野 田 委 員　　そうなのか。

中 込 課 長　　２点目、推薦枠については、各大学に何名という枠を設けて知らせる予定。
３点目、いわゆる適性検査については第１回目でというのは実質難しいと思っている。

野 田 委 員　　それがあるために、点数でトップなのにペケという人が結構いる。そういうのがかわいそうだなと思って。

中 込 課 長　　適正な扱いについては、一概にこうなったらということはなく難しいと思っている。加点については、最大１０点で今年度も対応する予定。例えば、英語のある程度であれば５点とか、司書教諭で５点、他の講師の免許を持っていれば５点とか、幾つか要件があるが、それをトータルで上限は１０点までということで今年度も考えている。

野 田 委 員　　以前は、先生方に自分が授業するといったプレゼンをしてもらっていたが、すごく良かったと思っている。もし復活できれば復活したほうがいいかなと思うが。

中 込 課 長　　それについては、様々な検討を加えたところで、今は集団討議の中に入れていて、そこで授業について見ていくということで検討している。

三 塚 委 員　　知事の公約の２５人学級を実行すると教員の数等を増やしていかなければいけないということが出てくるが、本年度それを反映する予定があるのかないのか。予算が絡むことだから次年度回しなのか、その辺の確認だけ取りたい。

市川教育長　　直近の知事の議会での答弁は、本年度中に方針をお示しますという内容であったので、それがいつか分からないが、まだ方針が明らかになっていないので、今の段階では出さない。

市川教育長　　この第２志望の創設についての趣旨というか、もう少し詳しく説明を。

中 込 課 長　　こちらについては、力のある方を採用することが前提だが、小学校で志願者が減っており、小学校の志願者を確保するということで、中学校の志願者で通過しなかった方については第２志望に回っていただき、そちらのほうでも小学校の方と同じように選考していく、より良い方を採っていくということ。
逆もあり、中学校の教科によっては、志願者がいないところもあるため、そこについても小学校で漏れた方といった、両方で補い合いながら、教員を確保していく狙いがある。

武 者 委 員　　去年、視察に行った学校で、お父さんもお母さんも海外からきているが、学校に通訳の方が一人しかいなくて、南米やフィリピンからきているなど、相当苦労していると、全国的にも問題だということだが、例えばその加点についてはスペイン語とかポルトガル語とかスワヒリ語を話せるというのも加点になるのか。そういったことを前面に押し出すことで、今、大学生いろいろ留学したりしていて学んでいる方もいるかもしれないので、ぜひそういったことを今後入れていただくといいかなと思う。少ないかもしれないが、そういうのを県として出すことで、力を入れて意識しているというようなものになるかと思うがいかがか。

中 込 課 長　　ご指摘については、様々な対応が必要ということは承知をしている。それを含めて、いわゆるグローバルな人材の確保という点ではグローバル人材の加点があるので、例えば海外青年協力隊に何年行っていて、その経験があるという方であればそれを生かしていただくということで、そちらも加点制度の中に入れている。その辺を少し広げるかどうかの検討だと思うが、なかなかラインを決めるのが難しい所でもあるので、グローバル人材という枠の中で検討していきたいと考える。

野 田 委 員　　英検は聞いたことがあるが、ほかの検定はあるのか。

武 者 委 員　　ドイツ語などもあるだろうが、なかなか聞かない。

佐 藤 委 員　　長いこと学校にいて、なぜこの先生、本採用にならないのかと思ってきたが、やっぱりペーパーテストがまず、というところで厳しかったりする。いい先生であればあるほど子どもにすごく寄り添ってくれて、７月までの試験勉強がなかなかできないということもある。そういう中で、現場で本当に即戦力になり、子どもといい対応ができているというそういう実績面はもう少し反映してもらえると良いと思ってきた。
大学推薦の枠が出てきて、公平・公正を出すためには、やっぱり成績でまずはフィルター掛けられてしまう。でもこの学生はいい先生になりそうだなと、大学でそういうことの見極めをもう少し課してもらって、そういう人材を逃さないようなことができる道筋は何かないかと思う。

野 田 委 員　　学力がいいからって教え方がうまいとか、いい先生になるとは限らないということ。逆に期採で現場積んできた先生のほうがある程度安定感があるし、実際に即戦力になる。そういう加点があってもいいんじゃないかということだ。

武 者 委 員　　大学推薦って、例えば大学入学の時に、平均で４．７とかじゃなくて、４．１以上にしておいても、最低限のレベルがあると思うので、そのあとは、指導している先生がこの方はということで多分推薦の文章を書かれると思うので、これはそこを網羅する形で良いと思う。

市川教育長　　前歴の加点はあるのか。

野 田 委 員　　期採の加点はあるの。期採をやっている加点というのは。

中 込 課 長　　３年間期採をやっていると一次を免除している。

【 了 知 】

〔 教育長閉会宣言 〕

以　　上